

A. 0003

スポーツにたとえるなら、野球というより、サッカーであってほしいですね。

人類にもっとも愛好されているスポーツはサッカーといわれています。野球が及ばないのは、おそらく、道具がいることとルールがむづかしいことでしょう。サッカーはボールひとつあれば、やれますが、野球は少なくとも、加えて棒（バット）が要ります。できれば、手袋も。サッカーの、手をつかっちゃダメというルール（使えとすぐケンカになる）と、それよりちょっとむづかしいオフサイドというルールくらいしか、取り立ててルールらしきものはありません。それに比べたら、野球のルールというのは、数が多すぎるし、むづかしすぎる。幼児少年ばかりでなく、大人にだって「やる気にならん、見るのもめんどくさっ」ということなのです。

ゲームの形式も、野球よりサッカーです。攻守が截然としている野球より、生きること、生活労働エトセトラ、攻めと守りがめまぐるしく動くというのも保険はサッカー的でしょう。普及のひろさという点からも、社会生活を営むうえでは、なんらかの保険は必須という現実と照らし合わせるとサッカーに近いような気がします。サッカーと大きく異なるのは、ルールのむづかしさ、保険は、これは野球的です。大甘に判断しても、まず、保険に関わりのある人しか分からないんじゃないかというくらい複雑です。野球ならプレーしながら、たのしみながら、おいおいルールを覚えていくというのもアリですが、プレーを始めるまえに「ルールは分かっているよね」と念を押されてはじめるのが、保険。ですから、義務教育が終了したひとには分かるルールにしてほしいというのが、私の要望なのですが……。